

第29回 相変化研究会シンポジウム(PCOS2017)の御案内

The 29th Symposium on Phase Change Oriented Science

2017年5月 相変化研究会

相変化研究会シンポジウムは、前身である相変化記録研究会シンポジウムの第一回開催(1990年、岩手県・盛岡)をスタートに本年度で29回目を迎えることになりました。本シンポジウムは、相変化方式の記録に関する結晶化機構、記録材料、構造、装置、および応用などについて各年度における相変化記録技術進展の総まとめの議論の機会です。また相変化研究の発端である相変化不揮発メモリ(Ovonic memory や PRAM)をはじめとする広範な相変化現象を視野に入れています。相変化技術の基礎から応用までを直接討議する場として第29回シンポジウムを以下の要領で開催致します。口頭発表やポスター発表で活発な討論を行い、相変化材料関連機器の展示も含め、有意義な情報交換の場となるよう本シンポジウムを盛り上げていきたいと思っております。



熱海ニューフジヤホテルのホームページより

- 1) 主催 : 相変化研究会
協賛: 日本セラミックス協会 (予定)
- 2) 開催日程: 2017年11月16日(木)-17日(金)
- 3) 場所 : 熱海ニューフジヤホテル
〒413-0013 静岡県熱海市銀座町 1-16
TEL: 0557-81-0111
URL: http://www.itoenhotel.com/search_hotel/hotellist/811_newfujiya/tabid/165/Default.aspx
- 4) シンポジウム内容、プログラム等の概略:
 - (1) テーマ: 相変化材料の基礎理論,基礎物性,構造解析,熱物性,ナノテク,応用など
相変化材料以外(電子デバイス、熱電変換など)の発表も歓迎です。
 - (2) プログラム概略(仮):

11月16日(木)	12:00~	受付
	13:00~16:20	講演
	16:20~17:50	ポスター
	19:00~	懇親会(夕食)
17日(金)	8:30~17:25	講演
- 5) 参加費用(シンポジウム参加、論文集、宿泊、食事を含む): 振り込み締め切 2017年10月24日(火)
 - ・2泊を含むタイプAの場合 一般 45,000円 学生 32,000円
 - ・1泊を含むタイプBの場合 一般 35,000円 学生 22,000円
 - ・シンポジウム参加のみのタイプCの場合 一般 20,000円 学生 10,000円
- 6) 参加申込締切り: 2017年10月24日(火曜日)
- 7) 参加申込方法: [こちら](#) → [別紙1](#)
FAX: 03-5734-3150 E-mail: rie@mtl.titech.ac.jp
「東京工業大学 物質理工学院 遠藤理恵」宛
(別紙1)をFAXまたはE-mailでご送付ください。申込確認後、受付のご連絡をいたします。
- 8) 講演の応募方法・スケジュール: [こちら](#) → [別紙2](#)
※ 論文賞を設け、表彰を行っておりますので、奮ってご応募下さい。
論文原稿および当日の発表を元に、厳正なる審査を行います。
- 9) 参加申込手続き及びシンポジウムに関する問い合わせ先:
〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1
東京工業大学 物質理工学院 遠藤 理恵
e-mail: rie@mtl.titech.ac.jp, TEL & FAX: 03-5734-3150

(別紙1)

「東京工業大学 物質理工学院 遠藤理恵」 宛
FAX: 03-5734-3150
E-Mail: rie@mtl.titech.ac.jp

第29回 相変化研究会シンポジウム
参加申込書

提出日 2017年 月 日

ご芳名 _____ e-mail _____
複数名連記可 _____ e-mail _____
_____ e-mail _____
_____ e-mail _____
_____ e-mail _____
_____ e-mail _____

勤務先・ご所属: _____

所在地 : 〒 _____

電話: _____ FAX: _____

E-mail: _____

支払金額合計: _____ 円

参加タイプ :

A (15, 16日 2泊)、 B (16日 1泊)、 C (シンポジウムのみ)

※選択は塗りつぶし(■)でお願いします:

参加費:	(一般)	(学生)
タイプA	<input type="checkbox"/> 45,000円	<input type="checkbox"/> 32,000円
タイプB	<input type="checkbox"/> 35,000円	<input type="checkbox"/> 22,000円
タイプC	<input type="checkbox"/> 20,000円	<input type="checkbox"/> 10,000円

振込手続: _____ 銀行 _____ 本店 支店より

振込人名義 _____

- * PCOS では出席者の皆様の親睦のため、宿泊は男女別の大部屋(4~5名)としております。大部屋が難しい方はご相談ください。
- * 同一の所属および参加タイプの方は、まとめて記入して頂いて結構です。
- * 参加申し込みと同時に、参加タイプに応じた参加費用を下記銀行口座にお振り込み下さい
- * 参加費支払いの確認が出来るように、振り込みの際には所属だけではなく、代表者氏名を御記入下さい

参加費振り込み先: (*注意 会計担当は遠藤ですが、口座名義はシタニトシミチとなっております。)

銀行名: 三井住友銀行 つくば支店(店番号: 244)
普通預金口座番号: 0233130
口座名義: PCOS 会計 新谷 俊通 (ピーコス カイケイ シタニトシミチ)

※ 参加費用は 2017年 10月 24日（火）迄にお振り込みをお願いします。

(別紙 2)

相変化研究会シンポジウム 講演論文応募案内

相変化研究会

1. テーマ

相変化光記録及び相変化不揮発メモリなど相変化に関する基礎理論、材料、構造解析、熱物性、ナノデバイス、シミュレーション、デバイス構造、積層構造、装置、応用、その他の相変化応用技術

2. 応募方法

最初にアブストラクトのご提出をお願いいたします。

2-1 応募期限：2017年 8月 31日（木）

2-2 応募資料：発表内容の概要：題名、所属、氏名と概要を、英語 150～300 words でA4, 1枚（HPよりテンプレートをダウンロード可能）にまとめて、下記宛てにメールでお送りください。尚、図表を入れていただいても構いません。

2-3 概要原稿送付先：産業技術総合研究所 物質計測標準研究部門
八木 貴志
E-mail: t-yagi@aist.go.jp

2-4 採択、講演：応募のすべてをオーラルプレゼンテーションとしてアクセプトいたします。但し、応募多数の場合には、著者の承諾を得て、ポスターセッションなどを設けたプログラム編成といたします。

オーラル：発表 20分、議論 5分、プロジェクター使用

ポスター：展示時間 1.5時間、サイズは 84cm×119cm(縦長 A0サイズ)、会場到着後、直ちに展示をお願いいたします。

また、アブストラクトの著作権は著者に帰属いたします。但しアブストラクトはホームページでの紹介を実施いたします。

3. 論文(プロシーディング)の提出

3-1 ご講演頂く皆様には、論文集原稿等の執筆依頼およびプログラムを送りますので、これに従って執筆および講演の準備をして下さい。

3-2 論文原稿書式：HPよりテンプレートをダウンロードしていただき、これに従って執筆願います。オーラルプレゼンテーションの方は最大4ページまで、ポスターの方は2ページまでです。

3-3 著作権に関して：

提出していただいた著作権は、著者に帰属いたしますので、著作権の譲渡書類の提出は必要ありません。尚、未発表の結果やデータで今後論文誌などへの提出を検討されている場合、二重投稿の可能性が懸念されますので、ご注意ください。提出頂きました論文につきましては、ホームページへの掲載を行わず、学会当日に紙媒体として配布する予定です。すでに発表された結果などで構成していただいても構いません。

3-4 論文提出期限：2017年 9月 29日（金）予定

3-5 論文原稿送付先：発表概要原稿の送付先と同じ。

3-6 論文賞を設け、表彰を行っておりますので、奮ってご応募下さい。
論文原稿および当日の発表を元に審査を行います。

4. その他

PCOS プログラム委員のメールアドレスを掲載いたしました。ご質問やご要望がありましたら、下記プログラム委員までご連絡ください。

(掲載いたしましたメールアドレスの「アット」を変更してお使いください。)

氏名	所属	メールアドレス
山田 昇		
柚須 圭一郎	NEDO	yusukir アット nedo.go.jp
斎木 敏治	慶応義塾大学	saiki アット elec.keio.ac.jp
新谷 俊通	(株)日立 LG データストレージ	tshin052766 アット gmail.com
桑原 正史	産総研	kuwaco-kuwahara アット aist.go.jp
須藤 祐司	東北大学	ysutou アット material.tohoku.ac.jp
譲原 肇	ナノテクノロジービジネス推進協議会	yuzurihara アット nbci.jp
遠藤 理恵	東京工業大学	rie アット mtl.titech.ac.jp
八木 貴志	産総研	t-yagi アット aist.go.jp
齊藤 雄太	産総研	yuta-saito アット aist.go.jp